

アゼルバイジャン アラット太陽光発電事業（PF融資）

アゼルバイジャン初の民間事業者による太陽光発電事業へのプロジェクトファイナンス方式での融資を通じて、アゼルバイジャンの再生可能エネルギー事業への投資を促進。

事業概要

アゼルバイジャン共和国南東部に位置するバクー市カラダグ地区アラットにおいて、太陽光発電所（230MW）及び関連設備を建設・運営することにより、再生可能エネルギーの普及を図り、もって温室効果ガス排出削減による気候変動の緩和及び民間投資の活性化に資するもの

インパクト

1. 電源の多様化による持続的な経済発展

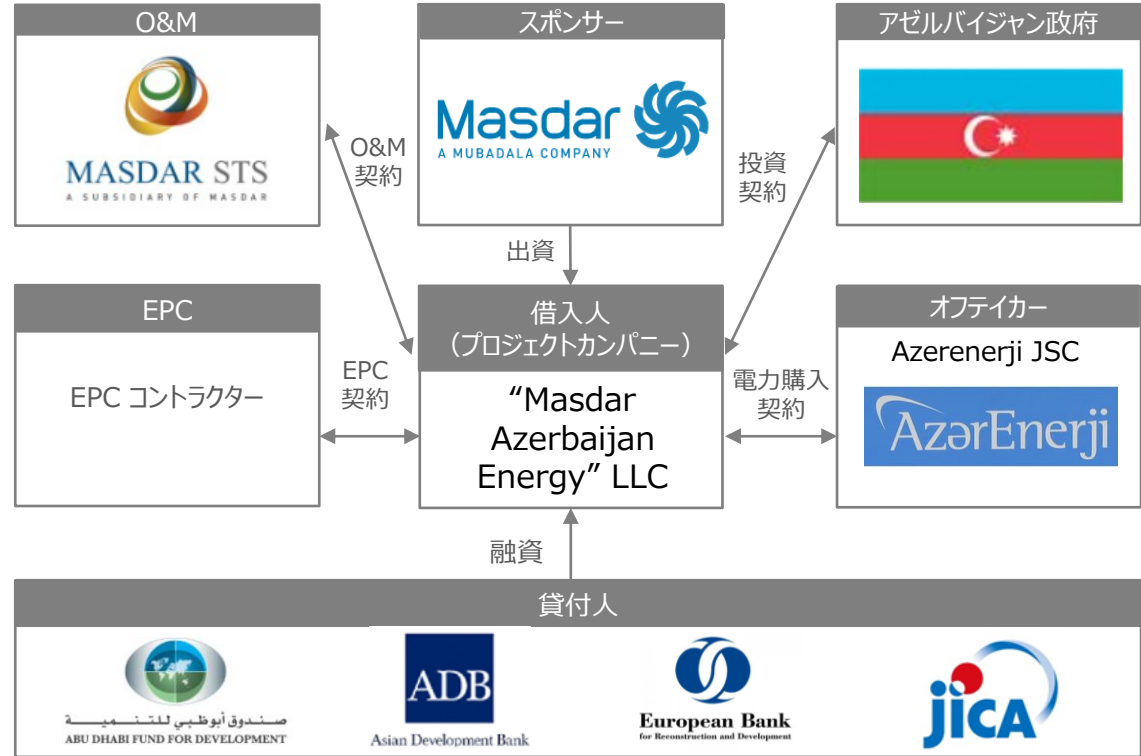
産油国である同国では化石燃料による発電が総発電量の9割を超えており、且つ火力発電設備は老朽化が進む中、本事業は電力供給の安定化、ひいては持続的な経済発展に資する。

2. 政府の掲げる再エネ目標の達成に貢献

同国政府は2030年までに総発電量に占める再エネの割合を35~40%まで引き上げる目標を掲げており、本事業はその目標達成に貢献する。

3. 後続類似案件形成の呼び水効果

同国初の民間事業者による太陽光発電事業へのプロジェクトファイナンス方式での融資を供与する事により、同国及び周辺地域への民間投資の呼び水効果が期待される。



プロジェクトサイトの様子

